

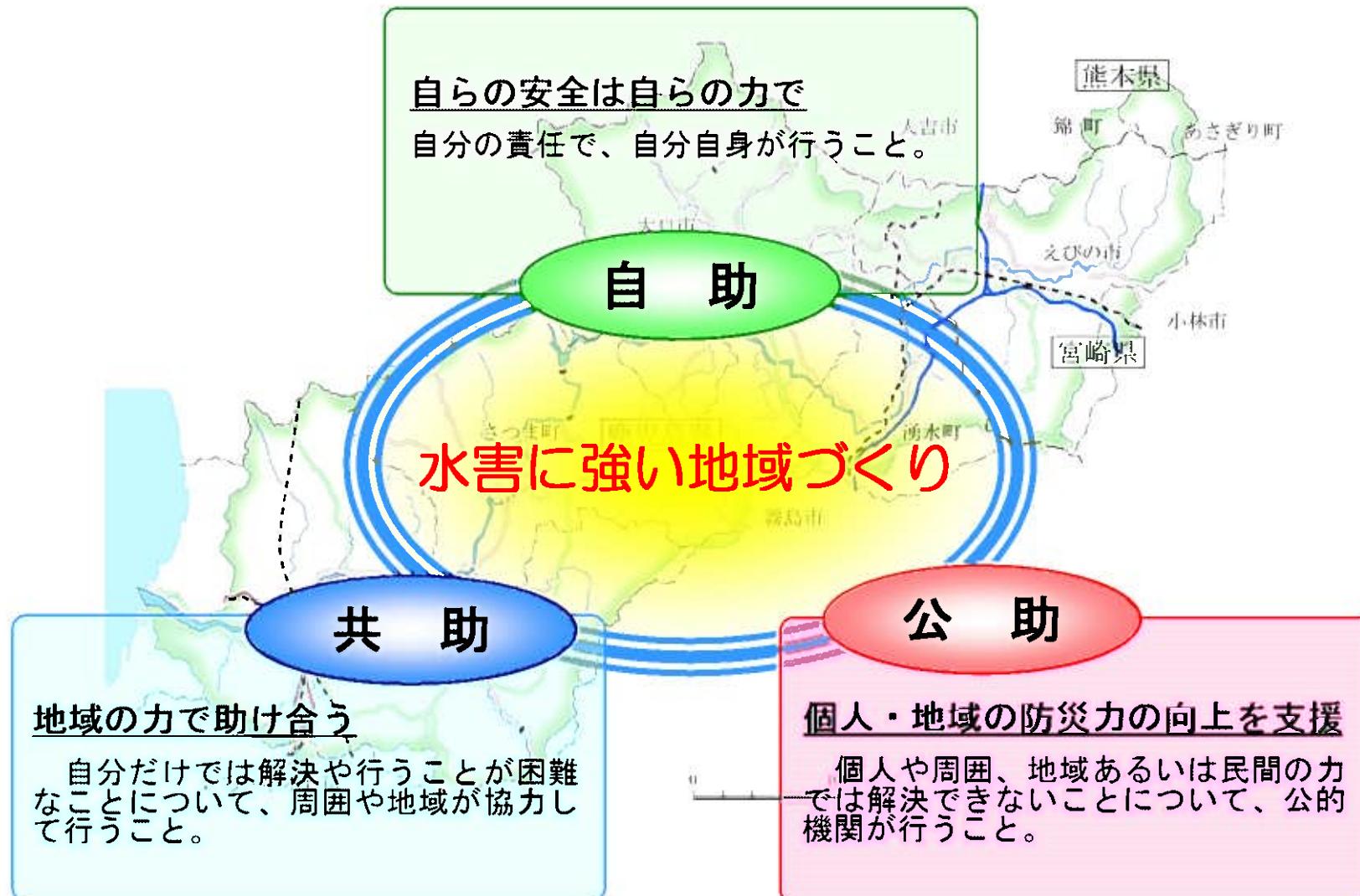
鶴田ダムとともに水害に強い地域づくりを考える 意見交換会(第1回)

川内川水害に強い地域づくり～アクションプログラム～
取組状況

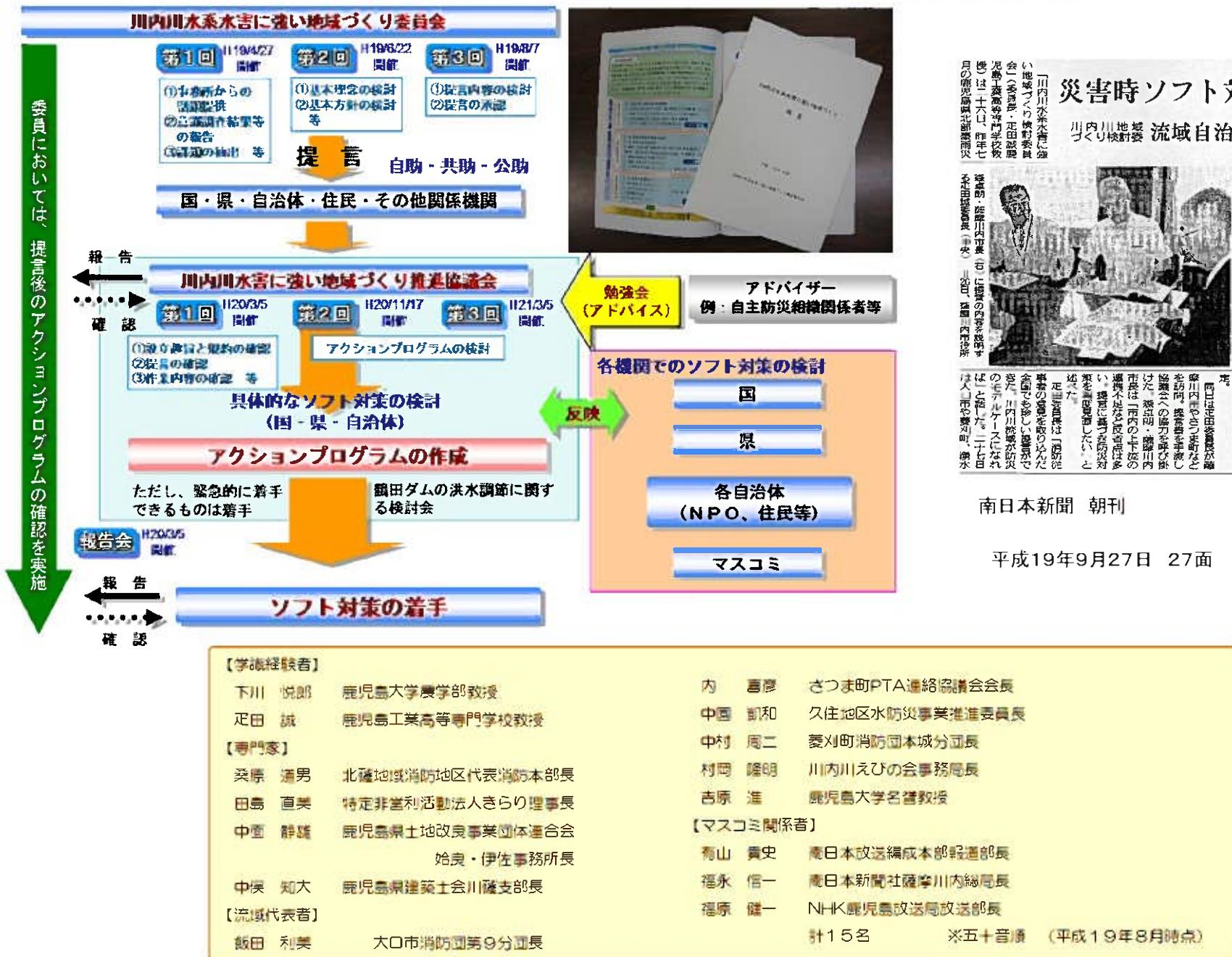
平成24年11月12日

川内川河川事務所

川内川流域一丸となって 防災・減災へソフト対策を展開 —アクションプログラム—



水害に強い地域づくりの全体経緯



アクションプログラム実施施策一覧

平成24年2月時点

番号	施策名	番号	プログラム名	アクションプログラムの実施状況						
				H18.7以前 水害前	H20年度末	H21年度	H22年度	H23年度	最終終了後	
1	洪水ハザードマップの作成支援	<1>	市・町洪水ハザードマップ整備完了		●					
		<2>	洪水ハザードマップの有効性確認		●					
		<3>	洪水ハザードマップの定期的更新							
		<4>	市・町中心の洪水ハザードマップの作成		●					
		<5>	洪水ハザードマップ学習会開催等			■	■	●		
2	避難計画・防災の再構築	<6>	浸水する避難所・避難経路の見直し		●					
		<7>	避難所への室内表示板等の設置		●					
		<8>	車による移動を考慮した避難計画の検討		●					
3	災害時要援護者避難支援策について	<9>	災害時要援護者避難支援計画立案		■	■	■	■	●	
		<10>	避難所における生活水準の向上		■	■	■	●		
4	水害対応市民行動マニュアル作成	<11>	水害時住民行動マニュアルの作成			■	■	●		
		<12>	水害による孤立化地域の抽出		●					
5	地盤強化防止対策について	<13>	孤立化地域の水防資機材の調査		●					
		<14>	避難経路の通航性確保、伝達手段確保		●					
6	水害危険性の認識向上、防災用語等の蓄得	<15>	出前講習制度等の活用		●					
		<16>	地盤防災構造・工法等の変遷		●					
7	浸水地区土地利用規制等について	<17>	治水目的的土地利用規制		■	■	■	■	●	
		<18>	浸水に強い建築構造導入について		■	■	■	■	●	
8	浸水機能確保対策について	<19>	浸水区域の確保・維持		■	■	■	■	●	
		<20>	リアルタイム表示		●					
9	わかりやすく程度の高い情報提供	<21>	危険度レベル等の情報の自動配信		●					
		<22>	危険度レベルの情報収集		●					
		<23>	マスコミとの連絡協議会の継続		●					
10	地区コミュニティの活用	<24>	市・町防災組織単位での避難行動	●	●					
		<25>	主要な水防情報の見やすい一元化							
11	水防情報の一元化	<26>	緊急にアクセスできるシステム		●					
		<27>	動画・指示等の発令基準の一貫性確保			●				
12	動画・指示等の発令基準の統一	<28>	浸水モーター制度の導入		●					
		<29>	ネットワークの強化			●				
13	収集情報の発令判断への活用	<30>	水防資機材の十分な備蓄			●				
		<31>	水防資機材の広域的利用体制の確立		●					
14	水防資機材の備蓄・効率的活用	<32>	主要水防箇所の情報提供		●					
		<33>	主要水防箇所に通じた水防工法学習	●	●					
15	重要水防箇所の情報提供	<34>	ボランティア受け入れマニュアルの作成		■	■	■	●		
		<35>	災害団体との災害協定書等の締結		●					
16	消防隊員等との浸水対応活動	<36>	浸水被災軽減活動のための教育・体験学習	●	●					
		<37>	推進協議会の設置		●					
実施プログラム累積計				3	24	27	31	32	37	
実施率(%)				8	65	73	84	86	100	

注1) 具体的施策名、アクションプログラム名は紙面の都合上、略しているものがある

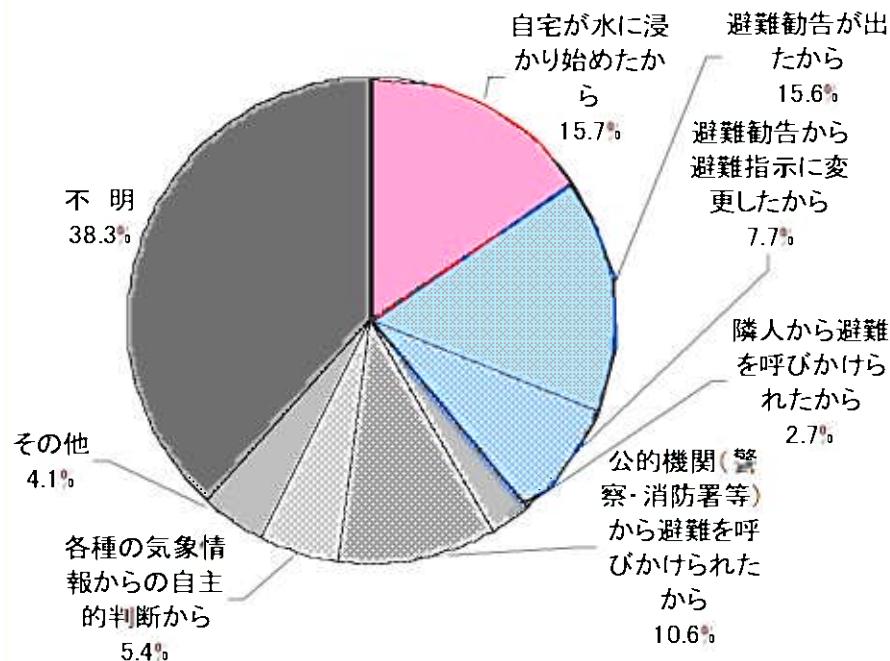
注2) ●はアクションプログラムの実施率

避難状況（H18. 7月出水）

Q: 避難した主な理由は何ですか？

■ 避難した人数

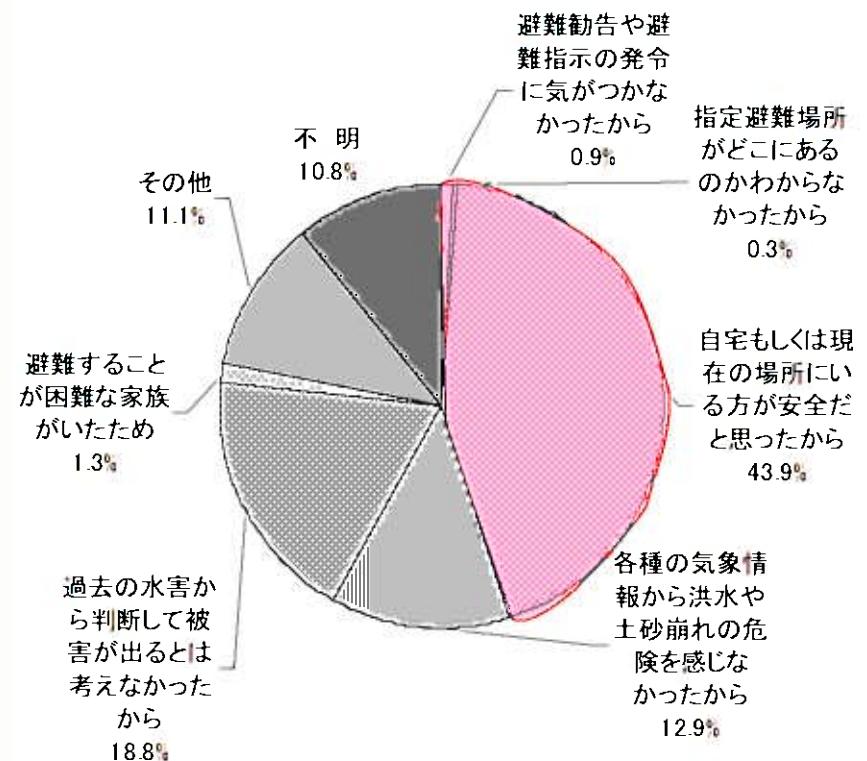
1380名（回答者の46.6%）



Q: 避難しなかった主な理由は何ですか？

■ 避難しなかった人

1581名（回答者の53.4%）



- ・危険な状態になってから避難した人々が多数いる。
- ・独自の考えを基に避難の判断をしている人が多い。

各水位に応じた危険度レベルの設定



観測所名	常点高(m)	水位(m)					
		水防団待機 (指定)	はん濫 注意 (警戒)	避難 判断 (特別警戒)	はん濫 危険 (危険)	計画 高水位	
		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4		
川内川	真幸	214.40	2.40	3.30	4.00	4.70	5.75
栗野様		179.60	3.80	4.40	5.10	5.80	7.15
宮之城		19.00	3.70	4.90	6.10	7.30	8.74
川内		0.00	4.20	4.70	5.10	5.60	6.99
羽月川	花北	164.90	4.30	5.10	6.20	7.00	7.50
宮之城川	川内	0.00	4.20	4.70	5.10	5.60	6.99
長江川	真幸	214.40	2.40	3.30	4.00	4.70	5.75

色による分類

各水位は色によって区別され、はん濫の危険性の周知が徹底されるよう工夫されています。

レベル1… 無着色
 レベル2… 黄色
 レベル3, 4, 5… 赤色

危険度レベル表示の実施状況



まるごとまちごとハザードマップの実施状況

まるごとまちごとハザードマップの導入目的

日常時

地域の洪水意識の高まり
洪水を知る

日常時

地域の洪水意識の高まり
避難を知る

発災時

地域の洪水意識の高まり
状況を知る

安全かつスムーズな避難

設置検討

~河川管理者と自治体の連携~



<設置箇所数>

川内川流域 79箇所

薩摩川内市: 16箇所

旧大口市: 10箇所

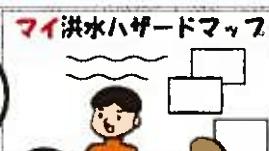
湧水町: 11箇所

さつま町: 22箇所

旧妻刈町: 13箇所

えびの市: 7箇所

活用方法(将来像)



■的確な避難経路の理解



■地区コミュニティごとの
防災意識の高揚

設置状況



まるごとまちごとハザードマップ

避難所への誘導、既往最大洪水痕跡水位の標識設置



避難所及び避難経路の
案内標識を設置。



既往最大洪水痕跡水位
の標識を設置。

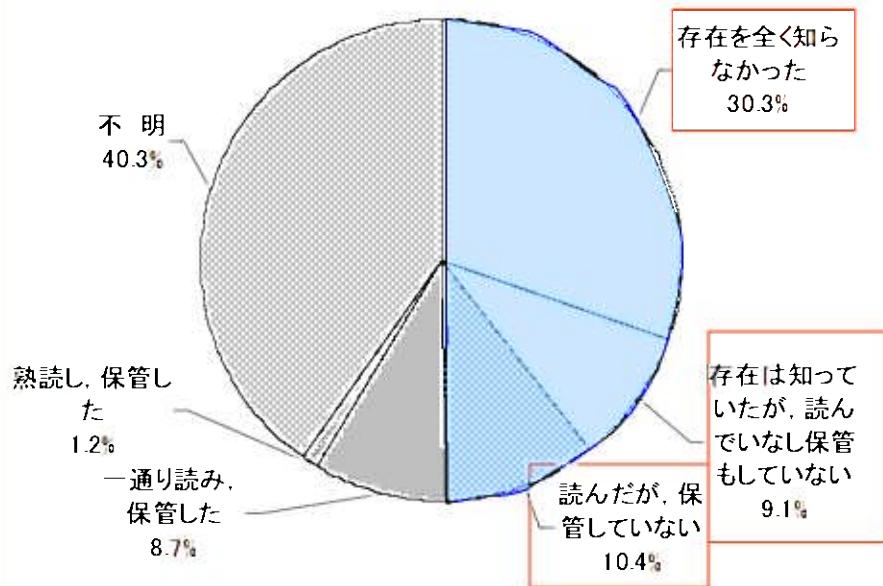
まるごとまちごとハザードマップ

通りなれた道の電柱、避難所となる学校など、普段から目に付く場所に洪水関連標識を表示することにより、町全体をハザードマップとする取り組み。

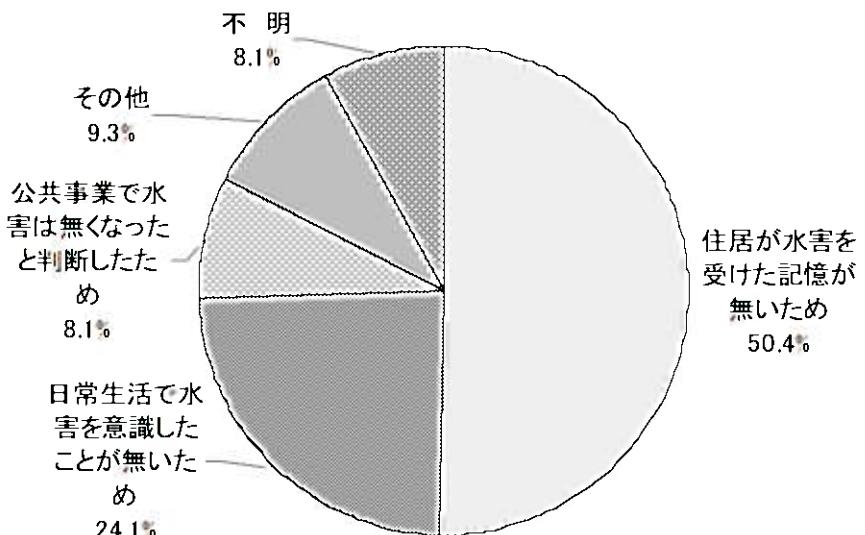
ハザードマップ活用状況 (H18. 7月出水直後)

Q: 平成18年7月洪水前に行政(市町)が配布した洪水ハザードマップを読みましたか?

(対象: 薩摩川内市・さつま町・湧水町)



Q: 洪水ハザードマップを読まなかった理由は何ですか?



- ・洪水ハザードマップがあまり活用されていない状況。
- ・水害にあう前に、洪水ハザードマップの必要性を住民に理解してもらう必要がある。

マイ洪水ハザードマップを作成しませんか＜出前講座＞

目的

平常時：地区コミュニティを活用して、地域防災力を高めるため
水害時：早期避難など、水害時の対応を促進するため

効 果

マイ洪水ハザードマップの作成

マップ作成の過程で
住民の方々の
防災意識向上
水害時の早期避難

地域の集まりの中でマップを作成
地域情報の共有
危険箇所、災害時要援護者等

地域防災力の向上

地区コミュニティの活性化

ハザードマップって
こんな感じ



マイ洪水ハザードマップは、市町から提供される洪水ハザードマップをベースに、あなたの家と避難場所を結ぶ避難経路について、避難時に想定される危険箇所や支障となる事項を整理し、これを自主防災組織・個人単位でマップとして作成するものです。



2009/12/18 19:38

マイ洪水ハザードマップ作成イメージ(えびの市DIG実施風景)

作成手順例

ステップ1



事前説明
既往洪水の発生状況や洪水ハザードマップに関する説明を行う。また、今後のスケジュールについても確認。

ステップ2



マイ洪水ハザードマップ作成開始
洪水ハザードマップをベースに避難時の危険箇所や支障となる事項を整理し、マイ洪水ハザードマップ(案)を作成。

ステップ3



現地調査
前回検討結果をベースに現地調査を行い、情報精度向上。現場で気づいた事をマップに書き込む。

ステップ4



危険箇所、災害時要援護者等の
地域情報を共有し、
マイ洪水ハザードマップ完成

現地調査の結果をマイ洪水ハザードマップに反映。作成したマップを使って今後の水防活動に関して討議。あわせて住民行動マニュアル(案)を作成。

スケジュール例

5月中

6月中

7月中

8月中

川内川水害に強い地域づくり推進協議会

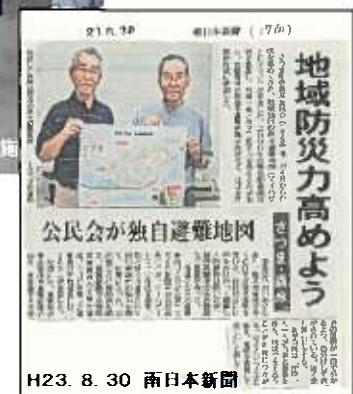
■薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市
■国土交通省川内川河川事務所

■鹿児島県

■宮崎県

マイ洪水ハザードマップ

自主防災組織単位で作成する、地区の住民ひとりひとりの避難経路や避難時の要援護者の確認、災害時の緊急連絡先等を記載した「マイ洪水ハザードマップ」の作成支援を行いました。地図作成の目的・作成方法の住民説明、地図の素案作成、地図の素案を基にした現地調査、現地調査後の地図再確認、避難に必要な情報の記載等、**地域住民、町、国が一体となってマイ洪水ハザードマップを作成。災害時要援護者の表記については援護者と要援護者の家屋に色分けをして表現するなど、個人情報に配慮した表現としています。**地域住民一体となって地図作成や現地調査を行ったことで平常時のコミュニケーションが図られ、**より一層「自助」「共助」による地域防災力が向上しました。**



H23. 8. 30 南日本新聞

防災・減災フォーラム開催

近年多発するゲリラ豪雨や台風災害、また活発な活動を続ける新燃岳の噴火活動による災害から身を守るために必要な知識を普及することで、「自助」「共助」「公助」の観点から地域防災力を向上させるために、防災・減災フォーラムを実施。講演を聴講し、**これからの地域防災活動の重要性を再認識させられたなど評価を頂いています。(H2 3. 12. 3開催)**



子ども環境ネットワーク実施（川内川河川事務所）

平成15年から始まった「川内川子ども環境ネットワーク」で平成22年4月から新たな取り組みをスタートしました。

これまで活動していた川内川流域での水質調査と水生生物調査等を『環境教室』とし、新たに「**水害に関する知識を深めてもらい、緊急時の避難に対する心がけを持ってもらう**」事を目的とした『防災教室』を開校し、防災に関する認識の普及を図っています。平成23年度は、合わせて1000名を超える方々がこども環境ネットワークに参加し、河川環境や防災対策の重要性について学びました。

【川の環境教育】

目的

- ・水質、ゴミ問題
- ・モラル感
- ・「川内川」を知ろう

内容

- ・環境講義（屋内）
- ・水質・水生生物調査（屋外）



【川の防災教育】

目的

- ・防災意識の向上
- ・自助、共助精神の発育

内容

- ・防災講義（屋内）
- ・川の危険箇所の把握（屋外）



流域自治体との光ファイバ網相互接続等に関する協定

17.関係機関との協力体制の確立

国と流域市町が整備する光ファイバ網を相互に接続し、河川に関する情報等を相互に交換し共有することにより、広域的かつ効率的な情報を提供することを目的とし、川内川河川事務所長と川内川流域自治体との間で「川内川河川管理用光ファイバ網の相互接続等に関する基本協定」を締結してしました。出水時の水文情報、各関係機関の体制状況、CCTVカメラ映像等をリアルタイムの情報提供を行うことで、流域自治体への迅速・的確な避難判断や水防活動等に役立っています。

●川内川河川管理用光ファイバ網の相互接続等に関する協定書(薩摩川内市)

川内川河川管理用光ファイバ網の相互接続等に関する基本協定書

〔附帯の解説〕
第8条 第6条に基づき設置した施設（光ファイバ、情報端末機等）については、施設の設置に要する費用を負担した者に帰属するものとする。

〔細目協定〕
第9条 本協定を実施するために必要な細目事項については、別途細目協定を定めるものとする。

〔従前の協定の取扱〕
第10条 本協定は、従前より甲乙の間に締結された協定などに変更を加えるものではなく、本協定の締結以前に締結されている事項に一切変更を及ぼすものではない。

〔疑義の解決〕
第11条 この協定に定めのない事項又は誤義を生じた事項については、必要に応じて甲乙が協議して定めるものとする。

〔協定の改廃〕
第12条 この協定は、甲乙の協議により改廃できるものとする。

〔本協定締結の証として本書2通を作成し、甲乙各1通を保有する。〕

〔附 則〕
この協定は平成21年3月30日から施行する。

平成21年3月30日

甲 国土交通省九州地方整備局
九州地方整備局長 萩本 博

乙 薩摩川内市
薩摩川内市長 吉田 秀郎

(施設の設置)
第6条 第2条に規定する光ファイバ網の相互接続及び情報を交換するために必要な施設（光ファイバ、情報端末機等）は、甲乙がそれぞれ設置するものとする。
2 施設（光ファイバ、情報端末機等）の設置に要する費用は、甲乙がそれぞれ負担するものとする。

(施設の維持管理)
第7条 前条に規定する施設（光ファイバ、情報端末機等）の維持管理は、甲乙がそれぞれ行い、維持管理に要する費用は甲乙がそれぞれ負担するものとする。

●協定締結機関

流域5市町(薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市)

●協定締結日

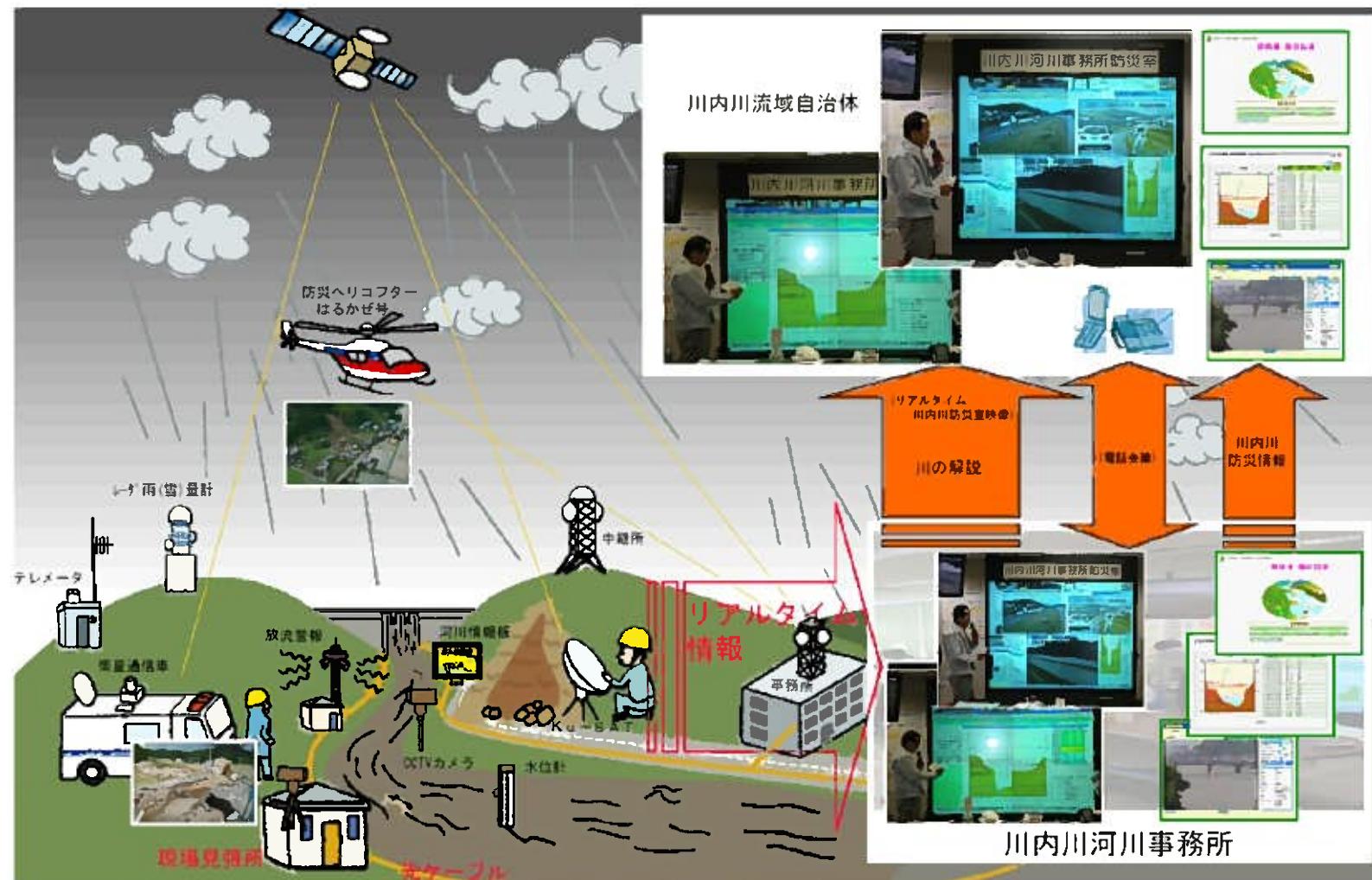
平成21年3月30日

流域自治体とのホットラインの強化①

10.わかりやすく精度の高い情報提供

14.収集情報の発令判断への活用

川内川流域自治体と川内川河川事務所に接続される光ケーブル網を利用し、遠隔防災会議システムを構築しました。流域5市町でホットラインの訓練を行い、各自治体から「危険な状況をリアルタイムで映像にて確認できるため非常に効果的で役立つ」との評価を得ています。



流域自治体とのホットラインの強化②

10.わかりやすく精度の高い情報提供

川内川流域では各観測所毎の危険箇所に水位の把握できる量水標を設置し、出水時には人員配置やカメラなどによる監視が可能となっています。また、被災箇所においても、タブレット端末、可搬端末及び可搬CCTVを用いて、調査映像をリアルタイムで配信することが可能です。この映像は各自治体でも視聴可能となっているため、被災箇所やはん濫危険箇所の切迫した状況を現地映像と量水標でわかりやすく認識することが可能となっています。

14.収集情報の発令判断への活用



川内川流域防災体制情報共有システム

14. 収集情報の発令判断への活用

川内川流域では、流域自治体の避難勧告などの情報をリアルタイムで共有したいというニーズを踏まえ、国土交通省と自治体間の光ケーブルを利用し、災害時の初動体制に最も有益な、流域自治体の防災体制・避難情報を共有できるシステムを整備しました。これより、市・町長が行う避難勧告等の意志決定に寄与するだけでなく、行政区域を越えた災害時の支援体制に繋がっています。

自治体避難勧告等情報

川内川 防災情報
5/12~5/13 洪水対応演習
防災体制状況図
防災掲示板
防災体制現況表
避難レベル現況表
過去の防災体制一覧

各市・町から県への被害報告様式とリンクしており、各市・町の情報が新しいものから順に表示されるようになっている。
一覧より、過去の情報についても閲覧可能である。

新着情報 >> 一覧はコチラ

被害報告様式(鹿児島県)は
こちらからダウンロードできます

被害報告様式(宮崎県)は
こちらからダウンロードできます

2008/7/22 13:10 湧水町 避難レベル登録
2008/7/22 11:00 さつま町 避難レベル登録
2008/7/22 11:00 さつま町 体制登録
2008/7/22 10:45 湧水町 避難レベル登録
2008/7/22 10:45 えびの市 避難レベル登録
2008/7/22 10:00 鶴田ダム 体制登録
2008/7/21 21:20 川内川河川 体制登録

避難指示が発令されました
避難勧告が発令されました
災害対策本部が設置されました
避難勧告が発令されました
避難準備情報が発令されました
非常体制に移行しました
非常体制に移行しました

各市・町の避難レベルに応じて変化。
各市・町の本部体制に応じて変化。

川内川流域防災体制状況図
2009/05/13 16:30 更新
県の防災体制
鹿児島県 宮崎県

高城川 山川 川内川 久富木川 薩摩川内市 さつま町 川内川河川事務所 鶴田ダム 伊佐市 湧水町 えびの市 羽川

自治体名
えびの市
島木町

被害報告様式
避難指示
避難勧告
避難準備

レベル
避難指示 07/22 14:20
避難勧告 07/22 11:50
避難準備 07/22 10:45

発令
解除

発令区域
京町、水境、東内野、鬼沢、福水境、上向江
市内全域
吉松地域全ての防護堤域を発令地帯に切替
木場地区
山下全治区と鰐谷今前地区
中津川、川添
四ツ塚(土砂を想定)

世帯数 人數
1,907
1,413
2,332
228
302
1,735
295

2008/07/18 18:32 更新

県境を越えた情報の一元化はおそらく全国初の取り組み。

自治体名、被害報告様式、避難レベル、発令・解除時刻、発令区域、世帯数、人数などがわかる。

自治体名	被害報告様式	避難レベル	発令時刻	解除時刻	発令区域	世帯数	人數
えびの市	避難指示	07/22 14:20	-	-	京町、水境、東内野、鬼沢、福水境、上向江	857	1,907
島木町	避難指示	07/22 11:50	07/22 14:20	-	京町、水境、東内野	634	1,413
	避難勧告	07/22 10:45	07/22 11:50	-	市内全域		
	避難指示	07/22 13:10	-	-	吉松地域全ての防護堤域を発令地帯に切替	1,007	2,332
	避難勧告	07/22 13:10	07/22 13:10	-	木場地区	81	228
	避難勧告	07/22 11:25	07/22 13:10	-	山下全治区と鰐谷今前地区	125	302
	避難勧告	07/22 10:45	07/22 13:10	-	中津川、川添	751	1,735
	避難勧告	07/22 10:30	07/22 13:10	-	四ツ塚(土砂を想定)	131	295

被害・避難情報 報告

宮崎県 鹿児島県

薩摩川内市
さつま町
伊佐市
湧水町
えびの市

川内川防災情報 閲覧

川内川河川事務所
鶴田ダム管理所

川内川支川の水位情報提供

12.水位情報の一元化

直轄管理河川以外の川内川支川水位・流量の情報提供を行うため、池島川・長江川・夜星川・穴川・泊野川・久富木川・樋脇川・平佐川の水位データを情報提供を可能としました。支川の水位上昇や合流後の本川水位上昇を事前に把握することができ、住民の避難判断や水防活動等に活用されています。



川内川情報提供システムの整備（雨量・水位・河川映像）

10.わかりやすく精度の高い情報提供

・ 水位情報電話応答番号一覧表

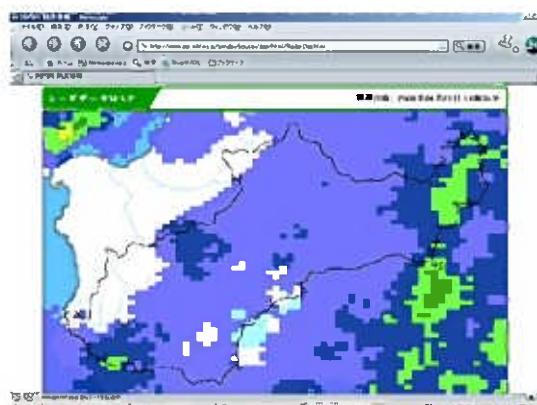
	局名	電話番号
1	全局	0996-20-3890
2	久見崎	0996-20-3891
3	川内	0996-20-3892
4	斧渕	0996-22-8222
5	倉野橋	0996-22-8226
6	宮之城	0996-22-8242
7	湯田	0996-22-8245
8	鈴之瀬	0996-22-8259
9	花北	0996-22-8260
10	荒田	0996-22-8265
11	湯之尾	0996-22-8274
12	栗野橋	0996-22-8276
13	吉松	0996-22-8279
14	真幸	0996-22-8281
15	上真幸	0996-22-8286
16	飯野	0996-22-8291

※1 全局では、水位情報・雨量情報・流域平均雨量・ダム諸量を選択して聞くことができます。

・ 水位・雨量情報ホームページ

パソコン向け

<http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai/index.html>



携帯向け

<http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/bousai/keitai/index.htm>

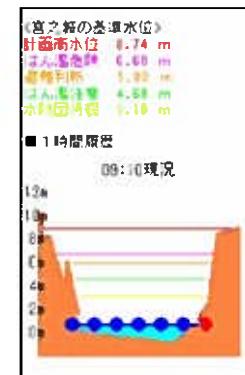


国土交通省
川内川河川事務所
防災情報
平成26年川内川
水防警報
洪水予報
未お知らせ

- 1. レーダー雨量
- 2. 水位情報
- 3. 雨量情報
- 4. ダム情報

川の防災情報

川内川河川事務所問合せ
(0996)22-3271(代表)
sendai@qsr.mlit.go.jp
鹿児島県鹿屋市川内町
東大小路町20番2号



川内川の水位情報

12.水位情報の一元化

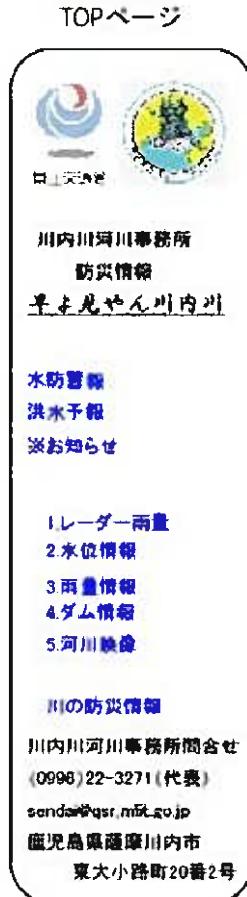
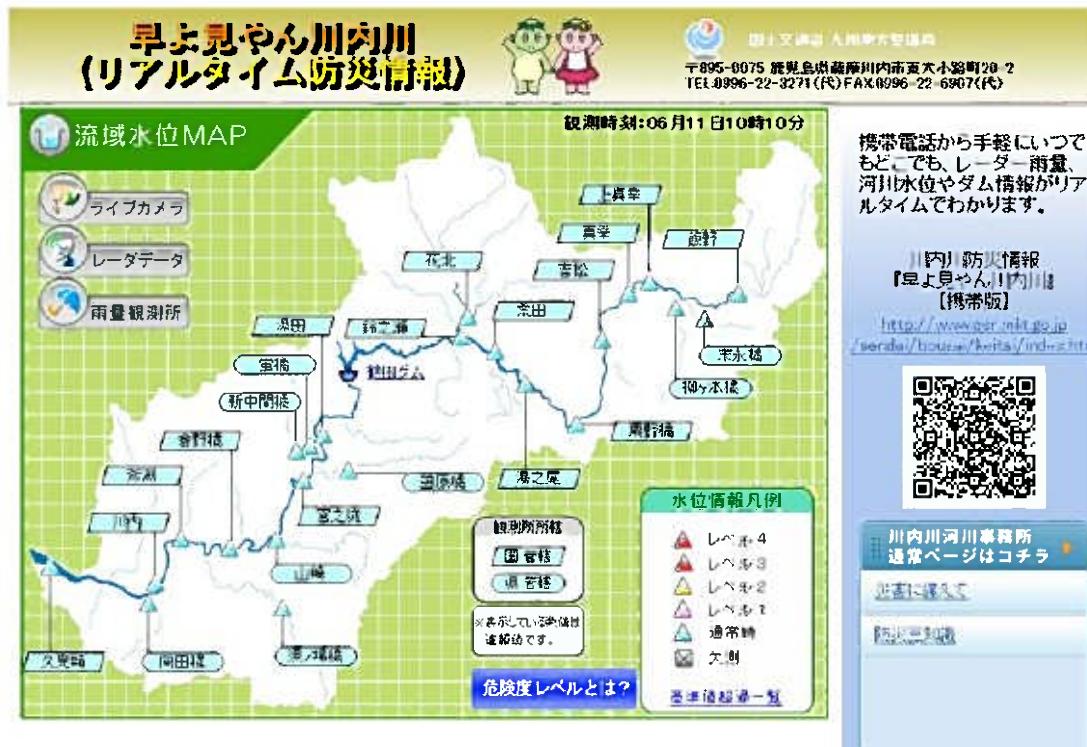
現在提供している防災情報

提供している情報

雨量・水位・河川映像

提供方法

インターネット・携帯電話・電話情報



各観測所の水位情報（インターネット・携帯電話）

12.水位情報の一元化

アドレス http://www.csr.mlit.go.jp/sendai/bousai/index.html

(リアルタイム防災情報) 沿岸土木事務所川内川河川事務所
〒095-0075 熊本県阿蘇郡川内町大字小野町20-2
TEL:090-22-3271(FAX:090-22-6907(休))

流域水位MAP

観測時刻: 06月15日15時00分

携帯電話から手軽にいつでもどこでも、レーダー雨量、河川水位やダム情報がリアルタイムでわかります。

川内川防災情報『早見やん川内川』
【携帯版】
<http://www.csr.mlit.go.jp/sendai/bousai/index.html>

QRコード

水位情報マップ

レベル4
レベル3
レベル2

川内川河川事務所
水位情報
06/15 16:00現在

危険度順表示

地点
飯野 -0.27 m →
上真幸 1.16 m →
真幸 1.15 m →
吉松 0.07 m →
栗野橋 -0.70 m ↓
湯之尾 0.24 m →
荒田 1.69 m →
花北 0.80 m →
錦之瀬 0.72 m →
湯田 0.72 m →
宮之城 0.64 m ↓
倉野橋 0.73 m ↓
斧渕 -0.11 m ↓
川内 -0.04 m ↓
久見崎 -0.24 m ↓

http://www.qsr.mlit.go.jp 川内川 防災情報 水位情報【川内】 - Microsoft Internet Explorer

川内

表示間隔 10分 1時間

水位 (m) 流量 (m³/s)

計画高水位 6.99 m
はん漬危険 5.30 m
避難半断 4.90 m
まん延注意 4.70 m
水防団待機 3.70 m

■ 1時間履歴

■ 24時間履歴

■ 3時間履歴

水位情報

流量情報

水位

流量

観測時刻

水位 (m)

流量 (m³/s)

備考

観測時刻	水位 (m)	流量 (m³/s)	備考
2009/06/22 10:00	-0.00	812.66	
2009/06/22 11:00	-0.61	576.65	
2009/06/22 12:00	-1.09	419.34	
2009/06/22 13:00	-1.33	320.46	
2009/06/22 14:00	-1.40	381.03	
2009/06/22 15:00	-1.08	422.46	
2009/06/22 16:00	-0.51	612.57	
2009/06/22 17:00	0.24	916.56	
2009/06/22 18:00	0.93	1250.15	
2009/06/22 19:00	1.34	1472.84	
2009/06/22 20:00	1.51	1670.82	
2009/06/22 21:00	1.44	1523.92	
2009/06/22 22:00	1.09	1234.86	
2009/06/22 23:00	0.73	1148.14	
2009/06/22 24:00	0.26	925.51	
2009/06/23 01:00	-0.07	763.51	
2009/06/23 02:00	-0.16	746.84	
2009/06/23 03:00	0.03	812.65	
2009/06/23 04:00	0.31	946.05	
2009/06/23 05:00	0.73	1153.14	
2009/06/23 06:00	1.23	1405.77	
2009/06/23 07:00	1.42	1516.42	
2009/06/23 08:00	1.33	1467.19	
2009/06/23 09:00	1.03	1325.56	

※表示している値は未報値です。

X閉じる

ページが表示されました

インターネット

川内川の雨量情報

**早よ見やん川内川
(リアルタイム防災情報)**

国土交通省 九州地方整備局

〒895-0075 鹿児島県薩摩川内市東大小路町20-2
TEL 0996-22-3271(代) FAX 0996-22-0907(代)

流域雨量MAP

観測時刻: 06月11日10時20分

ライブカメラ レーダーデータ 水位観測所

雨量情報凡例

- 時間雨量
5.1mm~
3.1~5.0mm
- 0.1~3.0mm
欠測

基準値超過一覧

携帯電話から手軽にいつでもどこでも、レーダー雨量、河川水位やダム情報がリアルタイムでわかります。

川内川防災情報
早よ見やん!川内川
[携帯版]
<http://www-qer.nitf.go.jp/cendai/bousai/keitai/index.htm>

QRコード

川内川河川事務所
通常ページはコチラ

沿岸に備えて

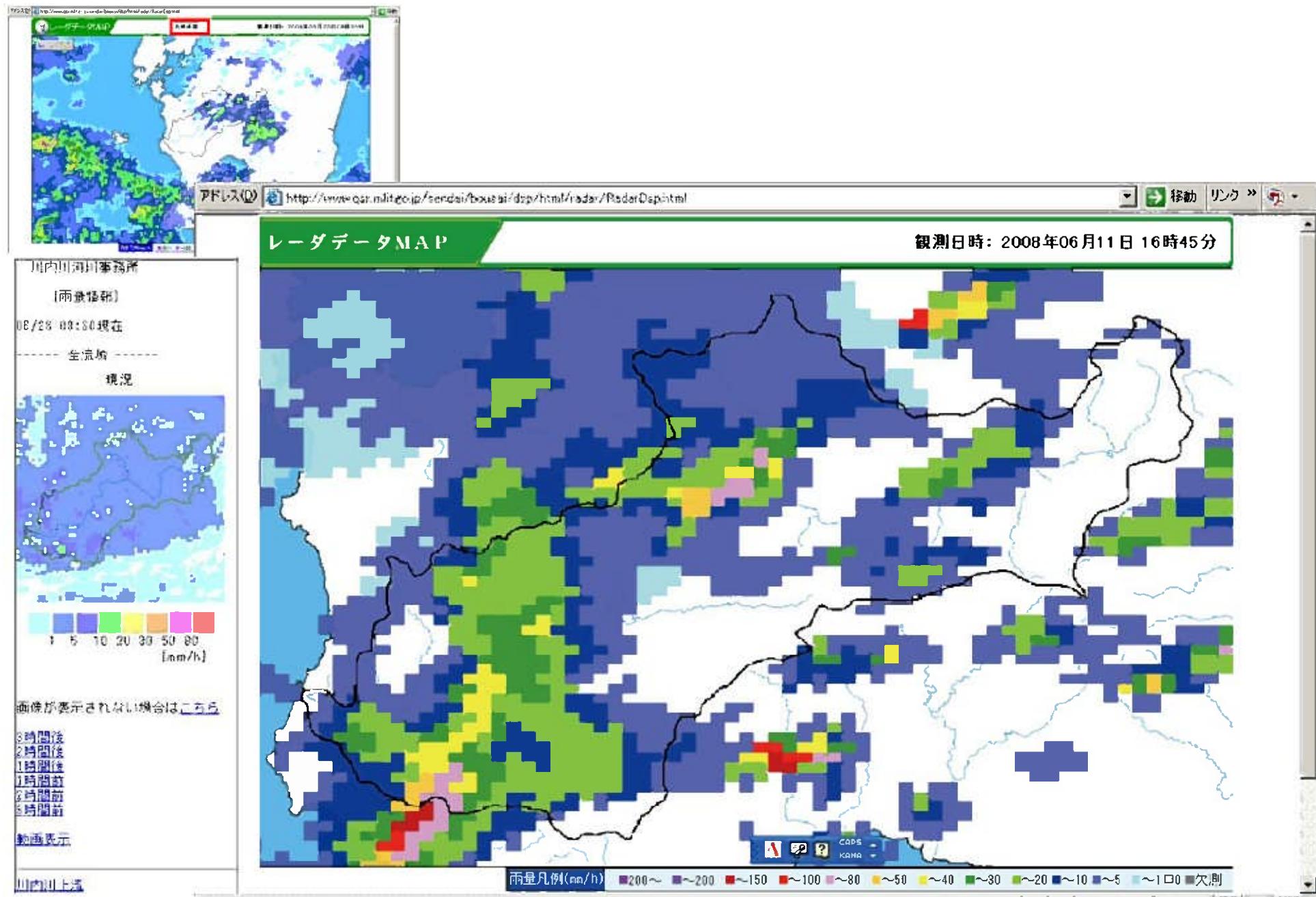
防災受判断

地点	時間 / 累加 (mm)
白鳥	0 /
満谷	0 /
八ヶ峰	0 /
万年青平	0 /
西ノ野	0 /
京町	0 /
栗野岳	0 /
栗野	0 /
柳野	0 /
青木	0 /
五女木	0 /
山野	0 /
山神	0 /
大口	0 /
錦之瀬	0 /
針持	0 /
鶴田	0 /
狩宿	0 /
北方	0 /
平川	0 /
祁答院	0 /
宮之城	0 /
山田	0 /
入来	0 /
役田	0 /
川内	0 /

各観測所雨量情報（インターネット・携帯電話）



川内川流域レーダ雨量情報（インターネット・携帯電話）



川内川水系河川映像（インターネット・携帯電話）

LIVE 河川画像 道路画像 録像切替 ? HELP

監視映像 カメラ自動切換 アクセス管理 2009/6/15 19:45

高画質映像 地図選択 リスト選択 検索選択

さつま町 虎居地先
川内川水系川内川右岸37km700

川内川河川事務所
河川映像

虎居（さつま町）
06/16 17:33現在

さつま町 虎居地先
川内川水系川内川右岸37km700

上流へ 下流へ

前面には携帯電話の裏面を利用して下さい

面倒切替

道路管理 河川管理 地区

虎居 37.7km 配信
柏原橋 41.78km 配信
荒田天神橋 70.88km 配信
西山 73.35km 配信
湯之尾瀬下流 77.35km 配信
湯之尾瀬 77.8km 配信
鶴泊橋 79.37km 配信

キロポストでソート ↑

カメラ名	虎居
設置目的	河川管理
河川名	川内川
左右岸	右岸
キロポスト	37.7km
管理施設名	空港監視
緯度・経度	N31°54'30.800"E130°27'16.400"
対象地区	鹿児島県薩摩郡宮之城町虎居地先
地盤名	九州地方整備局
事務所名	川内川河川事務所
ランドマーク名	宮之城橋 宮之城橋 宮之城橋

地デジによる雨量・水位情報提供

NHKデータ放送



地デジによる雨量・水位情報提供

NHKデータ放送



報道機関と連携して実施する情報提供

洪水時における情報提供に関する勉強会

【目的】

河川管理者・気象台と報道機関が連携して、洪水時における河川に関する情報提供を行うため、伝達方法を確認しあい、より迅速で正確な情報提供を検討するために勉強会を行う。

河川管理者
気象台
ダム管理所



テレビテロップ表示例

報道機関
テレビ
ラジオ
新聞

※テロップ内容について
は報道機関の判断で出す

報道機関との情報提供に関する勉強会の実施状況

河川及びダムに関する情報等のテロップ表示



名称	開催日	参加機関
第1回勉強会	平成19年5月28日	
第2回勉強会	平成19年7月18日	
第3回勉強会	平成20年5月28日	
第4回勉強会	平成20年11月14日	
第5回勉強会	平成21年6月11日	NHK鹿児島放送局・MBC南日本放送 KTS鹿児島テレビ放送・KKB鹿児島放送 KYT鹿児島読売テレビ
第6回勉強会	平成21年12月14日	
第7回勉強会	平成22年11月26日	エフエム鹿児島(H20から)・南日本新聞社(H20から)
第8回勉強会	平成23年5月31日	共同通信社(H20から)
第9回勉強会	平成23年12月13日	
第10回勉強会	平成24年5月25日	

情報提供に関する勉強会での決定事項

- 1) 報道機関と勉強会を行い、共通理解を深めながら協力を得て、テロップ等による情報提供を行う。（人命財産に関わる情報は報道機関の判断で出していく）
- 2) 毎年、出水期前後に勉強会を行う。



平成20年9月18日の情報提供（テレビテロップ表示）

平成20年9月18日洪水時の情報提供について（肝属川水系始良川）

はん濫危険水位突破 （9月18日18時40分）

NHKから大隅河川国道事務所調査第一課への電話取材（9月18日19時以前）

NHKのテレビでテロップ（9月18日19時05分頃）

はん濫危険情報発表 （9月18日19時15分発表）

肝属川水系はん濫危険情報

肝属川水系洪水予報 第2号

洪水警報

平成20年9月18日19時15分

大隅河川国道事務所・鹿児島地方気象台 共同発表

肝属川水系では はん濫危険水位に到達 はん濫のおそれあり

主文

肝属川水系の（始良橋水位観測所[鹿屋市吾平町]）では、
はん濫危険水位（レベル4）に到達しました。
はん濫するおそれがありますので、各自安全確保を図るとともに、
市町村からの避難情報に留意して下さい。

降雨と水位の現況

台風第13号の接近による大雨により

17日22時から18日18時までの、肝属川水系の流域平均雨量は、212ミリ
17日22時から18日18時までの、肝属川上流域の流域平均雨量は、146ミリ
17日20時から18日18時までの、串良川の流域平均雨量は、129ミリ
17日12時から18日18時までの、始良川の流域平均雨量は、308ミリ
17日22時から18日18時までの、高山川の流域平均雨量は、295ミリ
となっています。

また、所により1時間に90ミリの雨が降っています。

肝属川水系の水位は18日19時現在 次のとおりです。

（4）始良橋水位観測所[鹿屋市吾平町]で 5.60m

（水位危険度レベル4）上昇中

始良橋水位観測所では18日18時40分に5.51mではん濫危険水位（レベル4）
を突破しました。

降雨と水位の予想

この雨は当分この状態が続くでしょう。

18日18時から18日21時までの、肝属川水系の流域平均雨量は、50ミリ
18日18時から18日21時までの、肝属川上流域の流域平均雨量は、40ミリ
18日18時から18日21時までの、串良川の流域平均雨量は、30ミリ
18日18時から18日21時までの、始良川の流域平均雨量は、50ミリ
18日18時から18日21時までの、高山川の流域平均雨量は、70ミリ
の見込みです。

肝属川水系の水位は、18日20時頃には、
次のとおりと見込まれます。

（4）始良橋水位観測所[鹿屋市吾平町]で5.80m程度
（水位危険度レベル4）

